

# 長野市の合併の概要と これからのまちづくり

平成19年10月17日

長野市

# 長野市・大岡村・豊野町・戸隠村・鬼無里村合併

人口 2,182人  
世帯数 831世帯  
面積 135.64km<sup>2</sup>

新潟県

人口 4,916人  
世帯数 1,686世帯  
面積 132.76km<sup>2</sup>

人口 10,284人  
世帯数 3,338世帯  
面積 19.90km<sup>2</sup>

平成17年1月1日

## 新長野市

人口 383,763人  
世帯数 143,539世帯  
面積 738.51km<sup>2</sup>

小布施町

人口 364,839人  
世帯数 137,027世帯  
面積 404.35km<sup>2</sup>

人口 1,542人  
世帯数 657世帯  
面積 45.86km<sup>2</sup>

人口等は  
H17.1.1現在

# なぜ市町村合併か

生活圏の  
広域化

地方分権の  
推 進

少子高齢化  
社 会

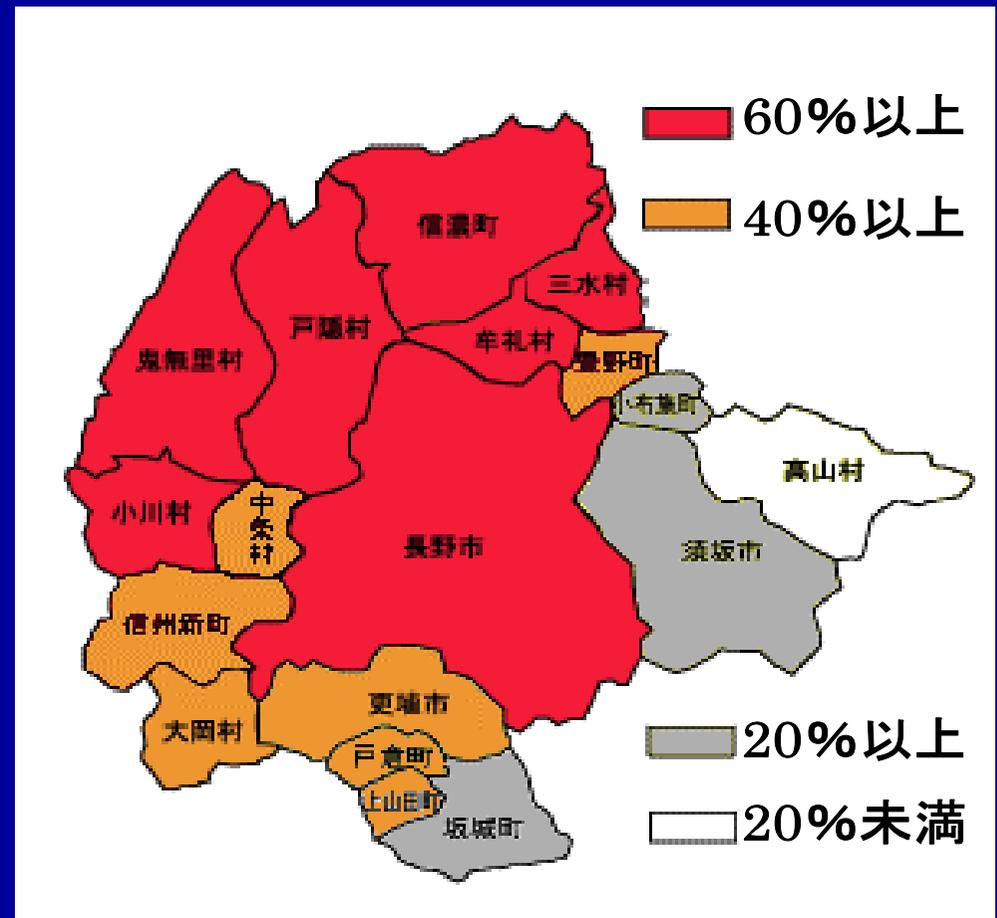
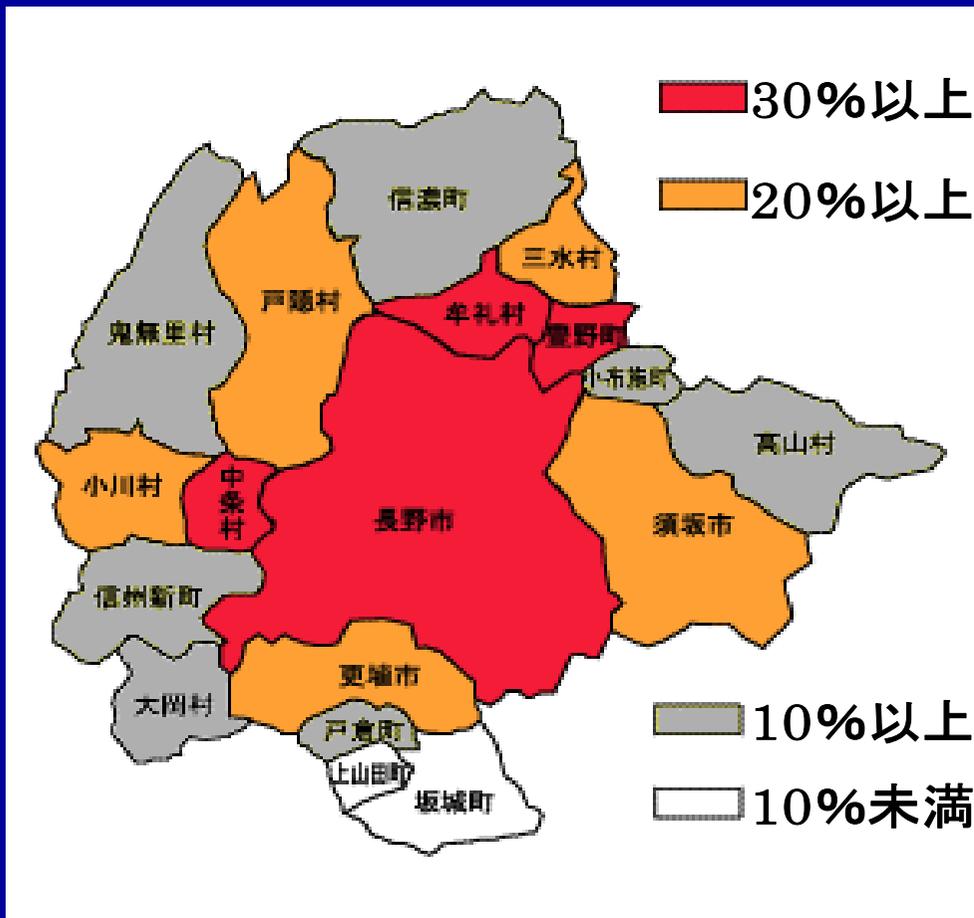
多様化する  
住民ニーズ

厳しい財政状況

# 生活圏の広域化①

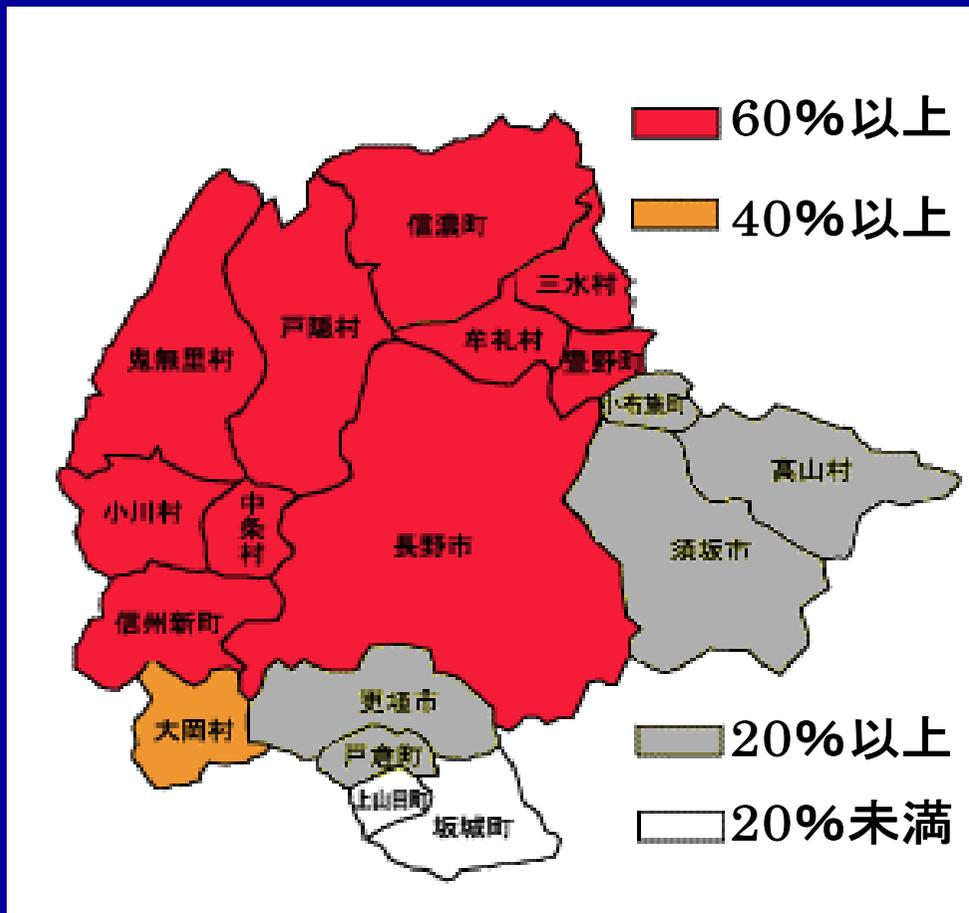
## ■ 長野市へ通勤

## ■ 長野市へ通学

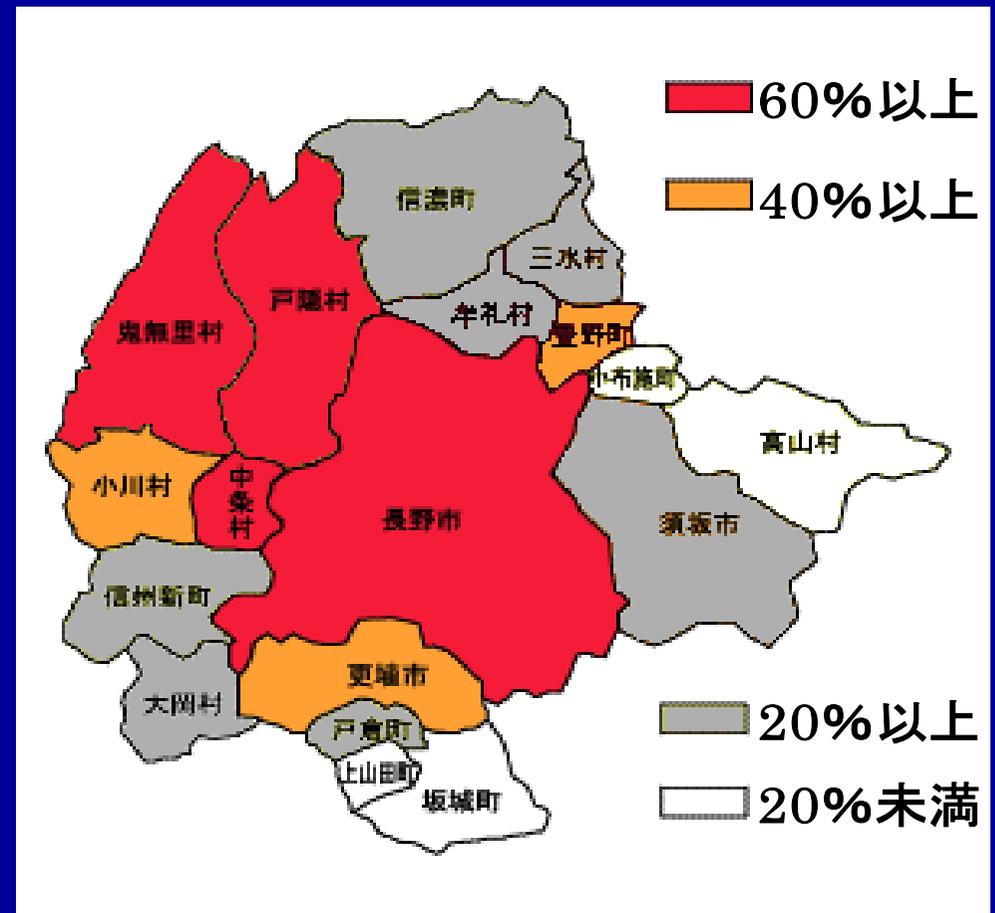


# 生活圏の広域化②

## ■ 長野市で買い物



## ■ 長野市で医療



# 本市と周辺市町村の関わり ①

## ■ 長野市は周辺17市町村と広域行政を実施



## 長野広域連合の業務

- 老人福祉施設の運営
- 介護認定審査
- 広域のごみ処理対策
- ふるさと市町村圏計画
- 広域的課題の調査研究
- 職員の共同研修

# 本市と周辺市町村の関わり②

## 消防・救急

- 周辺10町村と  
広域的な業務を  
実施



## 本市と周辺市町村の関わり ③

- 市内の企業・商店にとって、周辺市町村からの労働力・購買力は非常に大切
- 周辺の里山は、本市の重要な水源地域

### 地域のリーダーとしての役割

地域の中心的役割と責務を担う本市としては、今後の少子高齢社会の進展や厳しい財政状況を考え、合併協議の申し入れを真摯に受けとめ対応

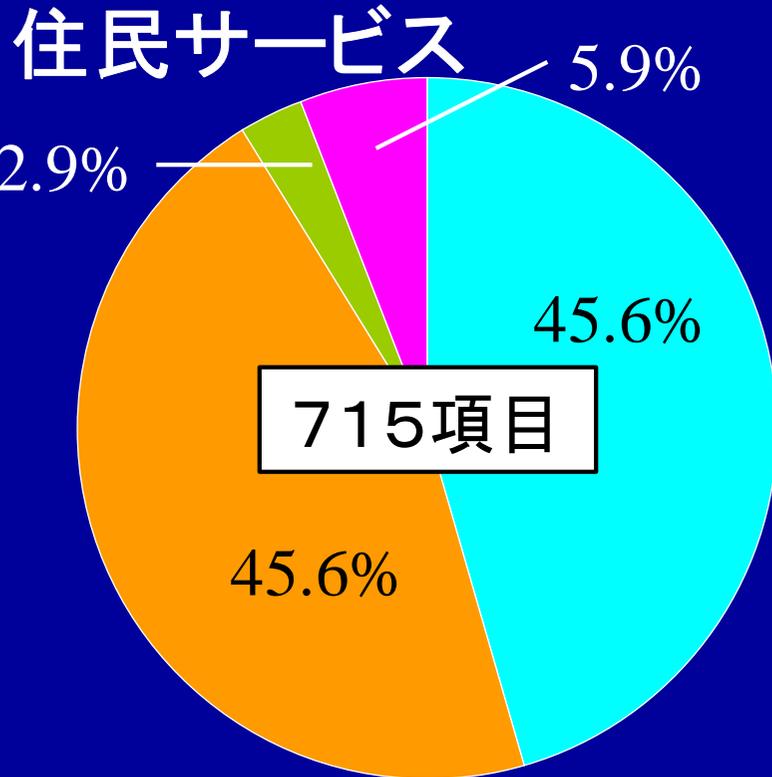
# 合併の効果と課題

住民の皆さんの暮らしに  
どのような影響があったのか。

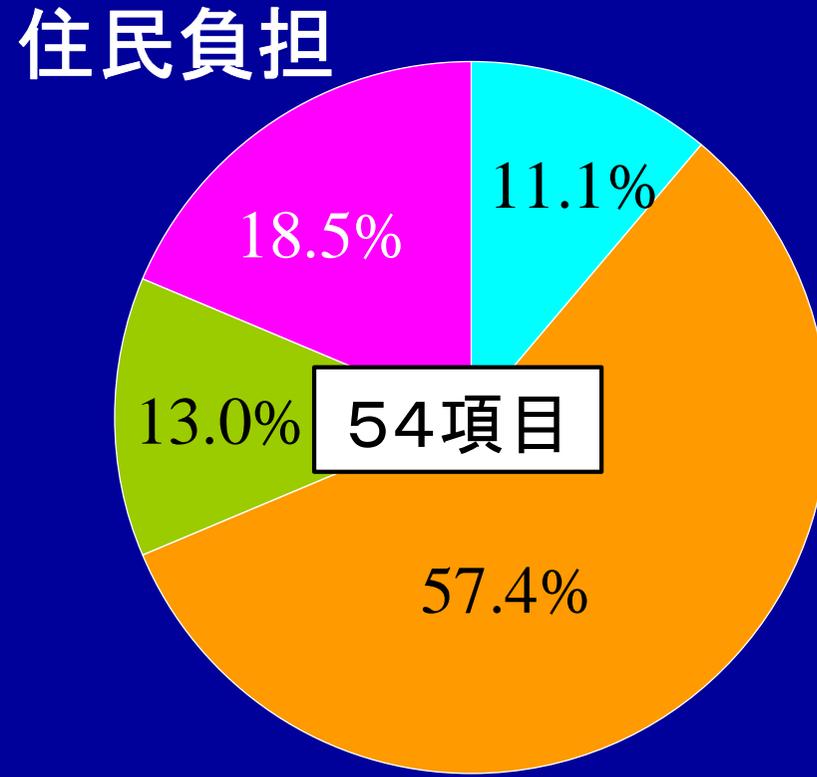
- 行政サービス
- 合併をいかした取組
- 行政経費の削減
- 国・県の財政支援の活用
- 合併前後の歳出決算額比較
- 合併後の課題

# 豊野町

## 住民サービス・住民負担の状況 (住民生活に関わりの深いもの)



- サービスが向上
- サービスに変化なし
- 一部向上、一部低下
- サービスが低下



- 住民負担が減少
- 住民負担に変化なし
- 一部減少、一部増加
- 住民負担が増加

## 行政サービスの向上

## 全市民(旧市・旧町村) への効果

### サービスが向上するものの例

- おでかけパスポートの利用範囲拡大(70歳以上)
- 住民票など各種証明書の交付申請や各種届出等を行う行政窓口が増加し、市民の利便性が高まった。
- 公立保育園の開園時間が一部拡大(H18年度7園に)

など

## 行政サービスの向上

## 合併地区市民 への効果

### サービスが向上するものの例

- 移動図書館の巡回
- 防犯灯の電気料に対する補助の適用
- 簡易水道料金の軽減

など

## 行政サービスの廃止・縮小(合併地区)

### サービスが低下するものの例

- 鬼無里村敬老年金事業・出生祝金事業の廃止
- 大岡村入村・Uターン奨励事業の廃止
- 大岡地区の保育料を経過措置を設け増額
- 都市計画税率の増加(豊野地区)

など

## 合併をいかした取組

### 取組の例

- 1200万人観光交流推進プランの推進  
善光寺界限、松代、飯綱、豊野、戸隠、鬼無里、大岡の7地区を観光地ブランドとして、年次計画により集中キャンペーン等を実施
- 小中学生農家民泊誘致支援及びグリーンツーリズム指導者の育成
- 長野灯明まつり、ながの花フェスタ善光寺花回廊での合併地区PR

など

# 行政経費の削減

## 人件費(特別職)の削減

■町村の首長、助役、収入役、教育長、教育委員、選挙管理委員、監査委員の特別職が失職となるとともに、議会議員、農業委員の削減が図られた。

(合併前)

4町村首長 4人	4町村助役 4人	4町村収入役 4人
4町村教育長 4人	4町村教育委員 16人	
4町村選挙管理委員 16人	4町村監査委員 8人	
4町村議会議員 54人	4町村農業委員 55人	

3億  
5千万  
円  
超  
の  
経  
費  
削  
減

(合併直後)

合併地区議員  
4人

合併地区  
農業委員  
8人

## 行政経費の削減

### 人件費(特別職)の削減

- 議会議員及び農業委員会委員の合併後最初の選挙においては、特例がなくなるため、さらに経費削減され、約4億円／年の経費削減が図れる。

### 職員数(一般職)の削減

- 定員適正化計画の目標として、合併後の平成17年度職員数2,875人を  
140人削減   
平成22年度には2,735人を目指す。

# 合併前後の歳出額比較

## 財政規模の比較(普通会計)

■平成15年度(合併前)歳出総額

長野市 1244億円 4町村計152億円

市民一人当たり  
365千円

市民一人当たり  
354千円

平成17年度(合併後)歳出総額 1352億円

(減少の主な要因)

総額で44億円の減少

- ・合併による特別職の失職に伴う人件費削減
- ・事務事業の多くが長野市の制度に統一され、一部に経費の増加が見られたが、スケールメリットをいかした効率的な行政運営に努めたこと
- ・事務事業の選択と集中を積極的に推進したこと など

# 合併後の課題

## 今後の課題

- 地域間格差の是正
- 合併地区内の市営バスの運行
- 合併支所の空きスペースの有効利用
- 合併地区内の貴重な自然環境の保全
- 中山間地域の活性化

など

# 合併後のまちづくり

## 第四次長野市総合計画 まちづくりの目標(都市像)

～善光寺平に結ばれる～

人と地域がきらめくまち“ながの”

多くの市民により築かれた財産を大切にして、  
未来のまちを支える人、多彩な文化、  
活気ある産業を育み、  
豊かな自然との共生を図りながら、  
魅力と活力に満ちた“ながの”を  
この地に結ばれる全ての人とともに創っていきたい。

# 都市内分権とは？

- ◆自分たちの地域は自分たちでつくる
- ◆市民の皆さんと市の協働によるまちづくり

地域

協働

市役所

地区住民が望むサービスの提供が可能  
市民の皆さんの満足度が高まる

# 都市内分権が必要とされる背景

- ◆地方分権の進展
- ◆厳しい財政状況

市役所

- ◆少子・高齢化

- ◆市民要望の複雑・多様化

地域

- ◆役員の担い手不足

- ◆無関心層の増加

自主的・自立的なまちづくりへの転換

自らの地域のことは自らの地域で考え  
決定していける仕組みをつくり、  
地域住民と行政が一緒になって  
みんなで知恵を出し合い

都市内分権  
の推進

住民と行政  
との協働

住民

行政



個性と魅力にあふれた活気あるまちづくり



都市と自然が調和する 多軸的まちづくり

# 新法下での合併について

- 長野市の合併に対する基本方針  
住民合意の上での合併協議の申し入れについては、真摯に対応する。

生活圏の広域化

地方分権の推進

少子高齢化

多様化する  
住民ニーズ

行財政基盤  
の強化

安定的・効率的にサービスを提供できる体制づくりが必要

合併＝  
自治体の最大の  
行政改革